

1 古代ギリシア・ローマの軍制についての次の文を読み、下の設問に答えよ。

古代ギリシアのポリス成立初期には、騎兵となる貴族が国防と政治を独占していたが、やがて重装歩兵による密集戦術が採用され、平民が歩兵として参加するようになった。有力なポリスである(a)スパルタは、市民の団結力と厳しい軍事訓練によって強国となった。一方(b)アテネでは次第に平民の政治参加が進められ、その重装歩兵部隊は(c)アケメネス朝ペルシアに勝利した。さらには海戦で活躍した無産市民も含む、兵役の義務を負う成年男性市民が参政権を得た。しかし、(d)ペロポネソス戦争の頃から、重装歩兵となる中産市民が没落したため、傭兵依存の傾向が強まった。(e)アレクサンドロス大王に始まるヘレニズム時代でも、広大な地域を支配するため多くの傭兵が用いられた。

ローマ軍も、はじめは貴族の騎兵を中心としたが、ギリシア風の重装歩兵の密集戦術が伝わると、次第に歩兵が充実した。戦術の変化は、歩兵の中核をしめる(f)平民の政治参加を促した。前3世紀には、ローマはイタリア半島を支配し、(g)ローマ軍の遠征は海外に及んだ。しかし、長期の従軍は多くの市民を没落させ、従来の子民軍の維持を困難にした。「(h)内乱の一世紀」と呼ばれる混乱期に入ると、武装自弁の原則が廃止され、無産市民が志願兵となり、以後ローマ軍は、それらを私兵として抱える有力者の対立・抗争が激化した。帝政が成立すると、皇帝の強力な常備軍が成立し、軍では属州出身者が占める割合が増大した。一定期間の軍務に従事するとローマ市民権が獲得できたからである。(ア)帝がローマ市民権を帝国の全自由人に与えると、軍隊には、帝国内に移住してきたゲルマン人が増えた。(i)ディオクレティアヌス帝やコンスタンティヌス帝による軍備増強は、その傾向に拍車をかけ、とりわけ帝国の西方の軍力はゲルマン人に大きく依存することになった。

問1 文中の下線部(a)に関して述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

イオニア人が先住民族を征服してつくった征服型のポリスであった。
少数の市民がペリオイコイとよばれる奴隷身分の農民を支配した。
商工業が盛んで、ギリシア最強の海軍国であった。
リュクルゴスが定めた軍国主義的な制度を持っていた。

問2 文中の下線部(b)に関して述べた文として誤っているものを、次のうちから一つ選べ。

クレステネスは血縁による部族制を地縁共同体に基づく部族制に改編した。
ペイシストラトスは僭主の出現を予防するため陶片追放の制度をつくった。
ドラコンは慣習法を成文化して、貴族の勝手な法解釈を防止した。
ソロンは借財を負った市民を奴隷として売ることを禁止した。

問3 文中の下線部(c)に関して述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

「王の耳」「王の目」とよばれる監察官が派遣され、中央集権化がはかられていた。
服属した異民族に対して、重税を課し、圧政を行ったので、各地で反乱が頻発した。
クテシフォンは、ダレイオス1世が建設をはじめた儀式用の都である。
ゾロアスター教を国教とし、教典『アヴェスター』が編纂された。

問4 文中の下線部(d)に関して述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

ペロポネソス同盟の盟主アテネに対してスパルタが反発したことから始まった。
アテネでは民主政治が腐敗し、デマゴーゴスによる寡頭政治に陥った。
この戦争の結果、ギリシア世界の覇権はアテネからスパルタに移った。
この戦争は、ギリシアの歴史家ヘロドトスによって記録された。

問5 文中の下線部(e)に関して述べた文として誤っているものを、次のうちから一つ選べ。
アレクサンドロス大王は、フィリッポス2世の後を継いだマケドニア王である。
アレクサンドロス大王は、東方遠征を行って、アケメネス朝ペルシアを滅ぼした。
ヘレニズム文化は、インドの仏教美術にも影響を与えた。
アンティゴノス朝マケドニアは、ヘレニズム文化の中心として栄えた。

問6 文中の下線部(f)に関して、次の史料と最も関係の深いものを、次のうちから一つ選べ。
「一つは借財に関する法 - 利息としてすでに支払われた額を元金から差引き、残額を三カ年同額ずつ分割払いとすること。第2に所有地(公有地)の制限に関する法 - なんびとも500ユゲラ以上の土地を所有してはならぬこと。第3にコンスルの一名を必ずプレブス(平民)より選ぶこと。」(『西洋史料集成』平凡社による)

十二表法 リキニウス・セクステウス法
ホルテンシウス法 カヌレイウス法

問7 文中の下線部(g)に関して、ローマが最初に獲得した属州を、次の地図中の地域より一つ選べ。

問8 文中の下線部(h)に関して述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

カルタゴの将軍ハンニバルがイタリアに侵入しローマは一時危機に陥った。
平民派のスラと閥族派のマリウスが互いに私兵を率いて争った。
見世物にされていた剣奴がスパルタクスにひきいられて大反乱をおこした。
グラックス兄弟の改革の成功で、内乱は終結した。

問9 文中の空欄(ア)にあてはまる皇帝の名を、次のうちから一つ選べ。

トラヤヌス カラカラ テオドシウス ユスティニアヌス

問10 文中の下線部(i)に関して述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

ディオクレティアヌス帝は四帝分治制をしいて、帝国の秩序を回復した。
ディオクレティアヌス帝は帝国の秩序を守るためにコロヌス土地緊縛の勅令を発した。
コンスタンティヌス帝は帝国の統一をはかるために、キリスト教を国教にした。
コンスタンティヌス帝はニケーア公会議を開催し、ネストリウス派を追放した。

2 次のA～Dは、中世ヨーロッパで活躍した4人の人物に関する文章である。各文章の下線部(a)～(d)のなかには、必ず1つ誤りがある。その記号を示し、間違いを訂正せよ。また下の設問にも答えよ。

A 私は生まれた8世紀半ばのイングランドは、(a)七王国(ヘプターキー)の時代であった。故郷の聖堂附属学校で学んだ私は、母校で教鞭をとり、やがて校長にまでなった。その後、私は、フランク王国のカールに謁見し、彼の宮廷に仕えることにした。当時、カールはイタリアの(b)東ゴート王国を滅ぼし、さらに北ドイツの(c)ザクセンに対する遠征を行っていた。カールは戦いに明け暮れていたが、文化人に対する敬意は持ち合わせていた。アーヘンに学校を設立した私は、いわゆるカロリング=ルネサンスの基礎を築いた。そしてこの間には、カールがローマ教皇(d)レオ3世より、ローマ皇帝として戴冠されるという出来事もあった。

問1 カール(大帝)の祖父が行なったこととして、正しいものを次のうちから一つ選べ。
アリウス派に改宗した他のゲルマン諸族と異なり、最初からカトリックに改宗した。イベリア半島から北上したイスラーム軍をトゥール・ポワティエ間の戦いで退けた。カロリング朝の成立を支持したローマ教皇に、ラヴェンナなどの領土を寄進した。レヒフェルトの戦いで、マジャール人の西方進出を食い止めた。

問2 カロリング=ルネサンス期に、アルファベットの小文字が開発・使用されるようになった。それは、イスラーム勢力の伸張によって、エジプト産のある物品の西方への輸出が激減し、高価な羊皮紙が代替品とされたことと関係がある。このエジプト産の物品とは何か。

B 私は、13世紀の初め、フランスの名門貴族として生まれたが、母がイングランド人であったこともあり、(a)ノルマン朝の支配下にあったイングランドに渡った。その後、イングランド(b)国王ヘンリ3世の信頼を得て、国王の妹を妻とするまでになった。ところが国王が、先王ジョンの時代に定められた(c)大憲章(マグナ=カルタ)をたびたび無視したため、私は改革派の貴族と結び、国王と対立した。そして1265年に貴族と聖職者からなる従来の議会に、州代表の騎士と特権都市の市民代表も加えた。次の国王(d)エドワード1世が1295年に招集した議会が、模範議会と称されているが、私が召集したこの議会こそが、イングランド議会の起源といえるだろう。

問3 Bで紹介されている人物はだれか。人名を記せ。

C 私は、14世紀前半にプラハで生まれ、父の後を継いでベーメン(ボヘミア)国王となった。その後、神聖ローマ皇帝になると、歴代の皇帝が執着してきた(a)イタリア政策にこだわることなく、内政を重視した。皇帝選出手続きの混乱を防ぐために(b)金印勅書を発布したのは私である。ところがこの結果、選帝侯を初めとする聖俗の(c)領邦君主の自立性が高まるという事態をもたらしてしまった。なお晩年には、フランスの(d)クレルモンにおかれていた教皇庁のローマ帰還に尽力し、それを実現させた。

問4 ドイツに関する文の中で、正しいものを次のうちから一つ選べ。

皇帝ハインリヒ4世は、聖職叙任権をめくり、ローマ教皇より破門されたことがある。エルベ川以東への植民運動は、13世紀のアルビジョワ十字軍によってさらに進んだ。13世紀に建設の始まったケルン大聖堂は、ドイツ最大のロマネスク建築である。アウグスブルクを盟主としたハンザ同盟は、貿易の発展を目的とした都市同盟である。

問5 15世紀初めに、ローマ=カトリック教会の改革を唱え、ベーメンのチェク人の民族運動を指導したために、コンスタンツ公会議で異端とされた人物はだれか。

D: 私は、15世紀初め、ドンレミに生まれた。ドンレミは、アルザス・ロレーヌ地方にあり、870年の(a)メルセン条約では、東フランク王国領であった。私は、13歳の頃から、しばしばフランスを救えという神の声を聞いた。そこで1429年に(b)オルレアンを包囲していたイギリス軍を撃退し、王太子であった(c)フィリップ4世の即位を助けた。その後、敵軍の捕虜となった私は、魔女として処刑された。しかし私の活躍後フランスは優位に立ち、イギリス勢は(d)カレーをのぞき、大陸から撤退した。なお百年戦争の終結後、私の名誉回復裁判が始まり、今では「救国の乙女」と呼ばれている。

問6 フランスでは、百年戦争の初期にジャクリーの乱が起こっている。農民人口が激減し、領主直営地の経営が困難となった代償に重税が課されたことが反乱の一因となった。14世紀中頃に、農民人口が激減した理由を次のうちから一つ選べ。

三圃制(農法)の普及	ノルマン人(ヴァイキング)の移動
商工業の急速な発展	黒死病(ペスト)の流行

3 15～16世紀ごろのヨーロッパについて、下の設問に答えよ。

問1 次の文中の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の～のうちから一つ選べ。

ポルトガル人は15世紀初頭からアフリカ西岸の探検に乗り出していた。1498年には(あ)が喜望峰を迂回してインド西岸のカリカットに到達した。インド航路の開拓によってアジアの産地との間で(い)の直接取引が実現し、ポルトガル王室は莫大な利益を手に入れた。

- | | |
|-----------------|---------|
| あ - カブラル | い - 銀 |
| あ - ヴァスコ=ダ=ガマ | い - 銀 |
| あ - バルトロメウ=ディアス | い - 銀 |
| あ - カブラル | い - 香辛料 |
| あ - ヴァスコ=ダ=ガマ | い - 香辛料 |
| あ - バルトロメウ=ディアス | い - 香辛料 |

問2 コロンブスが、「大地は球形で、大西洋を西航するのがアジアへの近道である」と考えるのに影響を与えたフィレンツェの天文・地理学者を、次のうちから一人選べ。

- ガリレイ マルコ=ポーロ トスカネリ コペルニクス

問3 次の文中の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の～のうちから一つ選べ。

スペイン人は、騎兵の機動力と鉄砲の威力で先住民(インディオ)を圧倒し、短期間で征服を完了した。さらに、スペイン人は、強制労働に先住民を酷使したので、ヨーロッパからもちこまれた(う)などの伝染病の猛威とあいまって、先住民の人口は激減した。先住民の悲惨な状況を見て、聖職者(え)のように、先住民の保護にのりだし、本国の植民地政策を批判するスペイン人も現れた。

- | | |
|---------|-----------------|
| う - 天然痘 | え - ラス=カサス |
| う - 梅毒 | え - ラス=カサス |
| う - 天然痘 | え - フランシスコ=ザビエル |
| う - 梅毒 | え - フランシスコ=ザビエル |

問4 新航路の開拓がヨーロッパ社会に及ぼした影響を説明した文として誤りを含むものを次のうちから一つ選べ。

イタリア商人の手を経る東方貿易の重要性が薄れ、南ドイツの都市も衰退に向かった。
アメリカ大陸から大量の銀が流入したため、ヨーロッパの物価が急速に上昇した。
イギリスでは新しい耕作技術の導入や肥料の改善などの農業革命が進展し、第二次囲い込みが始まった。
アメリカ大陸原産のトマト・ジャガイモ・トウモロコシなどがヨーロッパにもたらされ、農作物が多様になった。

問5 イタリア=ルネサンスの最大の中心地であったフィレンツェにゆかりの人々に関する文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

マキャヴェリが『君主論』を著し、君主の統治・軍事のありかたを宗教や道徳から切り離して論じた。
ダンテがラテン語の名文で大叙事詩『神曲』を著した。
ボッカチオが近代小説の原型とされる『カンタベリ物語』を著した。
ミケランジェロがフィレンツェ大聖堂(花の聖母マリア大聖堂)のドームを設計した。

問6 ルネサンス期の著作について、著者名と作品名の組み合わせが誤っているものを、次のうちから一つ選べ。

- | | | | |
|--------|----------|--------|---------------|
| エラスムス | - 『愚神礼讃』 | トマス=モア | - 『ユートピア』 |
| モンテーニュ | - 『随想録』 | セルバンテス | - 『ガルガンチュア物語』 |

問7 ルターの宗教改革について述べた文章として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

ルターは『キリスト教綱要』を発表し、悔い改めと福音信仰によってのみ人は救われると主張し、教皇による贖宥状(免罪符)の販売を批判した。
教皇と皇帝の弾圧を受けたルターは、ザクセン選帝侯の保護のもとで『新約聖書』のドイツ語訳を完成し、その普及につとめた。
ドイツ農民戦争に際して、ルターは農奴制の廃止などの社会変革を求める農民の立場を一貫して支持した。
16世紀半ば、ルター派の諸侯・都市と皇帝・カトリック教会擁護派との内戦の結果、アウクスブルクの和議が成立し、個人の信教の自由がみとめられるようになった。

問8 次の文中の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の～のうちから一つ選べ。

フランス人カルヴァンは(お)で宗教改革を指導し、(か)を説き、市民生活に厳格な規律を要求した。その禁欲と勤労の職業倫理は、商工業者の間に広く受容された。

- | | |
|--------------|-----------|
| お - ジュネーヴ | か - 予定説 |
| お - ヴィッテンベルク | か - 予定説 |
| お - ジュネーヴ | か - 社会契約説 |
| お - ヴィッテンベルク | か - 社会契約説 |

問9 カルヴァン派はヨーロッパ各地に広まったが、フランスでは彼らは何と呼ばれたか、正しいものを次のうちから一つ選べ。

- ゴイセン ピューリタン ユグノー プレスビテリアン

問10 イギリスの宗教改革について述べた文として誤りを含むものを、次のうちから一つ選べ。

ヘンリ8世は、ルターの宗教改革を支持するためにローマ教会から離反した。
ヘンリ8世は、修道院解散をおこなって、その土地・財産を没収した。
メアリ1世は、スペイン王室と結んでカトリックを復活しようと企てた。
エリザベス1世は、統一法によってイギリス国教会を確立した。

4 19世紀のヨーロッパに関する下の年表について、次の設問に答えよ。

ドイツ	フランス	イギリス	ロシア
	1814(b) <u>ルイ18世即位</u>		1825デカブリストの乱
	1830 七月革命	1832(e) <u>第一回選挙法改正</u>	
1848(a)『 <u>共産党宣言</u> 』 1848～1849 (A) 国民議会	1848(c) <u>二月革命</u>		
	1852 第二帝政開始	1853～1856(f) <u>クリミア戦争</u>	
1866 普墺戦争		1868～74(B) 内閣	1861(g) <u>農奴解放令</u> 1869(h)『 <u>戦争と平和</u> 』
	1870～1871(d) <u>普仏戦争</u>		

問1 下線部(a)はドイツのマルクスとエンゲルスが発表したものであるが、次の社会主義者についての文で誤っているものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。

イギリスのロバート=オーウェンは共産村の建設を試み、工場法の制定に貢献した。
フランスのルイ=ブランは二月革命後の臨時政府に参加した。
サン=シモンやフーリエは「空想的」社会主義者と呼ばれた。
ロシアではブルードンやバクーニンなどの無政府主義者もあらわれた。

問2 下線部(b)について、ウィーン会議の結果として誤っているものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。

フランス、スペインではブルボン王朝が復活した。
ドイツでは35邦4自由市からなる北ドイツ連邦がつけられた。
イギリスはケープ植民地の領有を認められた。
ロシア皇帝はポーランド王を兼ねることとなった。

問3 下線部(c)の革命の影響を受けてないものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。

ドイツ関税同盟が発足した。
ウィーンで三月革命がおこった。
イギリスでチャーチスト運動が高揚した。
「青年イタリア」がローマ共和国を樹立した。

問4 年表中の(A)はドイツ統一と全国憲法制定のための自由主義者からなる国民議会が開かれた都市である。その都市を次の中から1つ選び番号で答えよ。

ウィーン ベルリン フランクフルト ヴァイマル

問5 下線部(d)について、誤っているものを次の中から1つ選び番号で答えよ。

この戦争はスペイン王位継承問題をきっかけに始まった。
この戦争中、ナポレオン3世は捕虜となり退位し、第二帝政は崩壊した。
この戦争に敗北したフランスは、アルザス・ロレーヌをドイツに割譲した。
この戦争中、プロイセン王ヴィルヘルム2世を皇帝とするドイツ帝国が成立した。

問6 下線部(e)の結果、選挙権は中産階層に拡大され腐敗選挙区は廃止された。19世紀のイギリスの自由主義的改革で制定された法を次の中から1つ選び番号で答えよ。

航海法 穀物法 カトリック教徒解放法 審査法

問7 (B)はアイルランド問題の解決に努力した自由党の党首である。その人物を次の中から一人選び番号で答えよ。

ウォルポール ディズレーリ オコンネル グラッドストン

問8 下線部(f)について誤っているものを次の中から1つ選び番号で答えよ。

この戦争は南下政策をとるロシアとオスマン帝国との戦争である。
この戦争に対して、フランスはロシアを援助した。
この戦争は、クリミア半島の要塞をめぐる戦いが焦点となった。
この戦争の結果結ばれたパリ条約で、ロシアの南下は阻止された。

問9 下線部(g)の農奴解放令がだされた年にイタリア王国が成立した。サルデーニヤがイタリアの統一過程で実現した出来事が古い順に並べられているものを、次の中から1つ選び番号で答えよ。

イタリア統一戦争に勝利 - ナポリ王国併合 - ヴェネツィア併合 - ローマ教皇領併合
ナポリ王国併合 - イタリア統一戦争に勝利 - ヴェネツィア併合 - ローマ教皇領併合
ヴェネツィア併合 - ローマ教皇領併合 - ナポリ王国併合 - イタリア統一戦争に勝利
イタリア統一戦争に勝利 - ヴェネツィア併合 - ナポリ王国併合 - ローマ教皇領併合

問10 下線部(h)はトルストイの作品であるが、作者と作品名が正しい組み合わせでない写実主義や自然主義の作品を次の中から1つ選び番号で答えよ。

スタンダール - 『赤と黒』 モーパッサン - 『女の一生』
ディケンズ - 『ボヴァリー夫人』 ドストエフスキー - 『罪と罰』

5 インドと中国における仏教の発展に関する次の文章を読み、設問に答えよ。

仏教は前500年ころのインドで、ガウタマ=シッダールタにより開かれた。その後誕生した(a) インドの各王朝の保護のもとで仏教は発展し、やがて(b)東南アジアや中国・朝鮮・日本へ伝わった。

仏教の中国伝来は(c) 漢代のことであるが、社会一般に広まったのは4世紀からである。このころ西域から渡来した [A] は華北で布教活動を行い、鳩摩羅什は仏典の翻訳に従事した。東晋の僧(あ) が(d) インド にいて仏教を修めたのもこの時期である。仏教が広まるとともに仏像・寺院もさかんにつくられた。北魏の都がおかれた平城近郊にある [B] の石窟寺院はその代表的なものの一つである。

唐代に入ると(い) がインドをおとずれて仏教を研究し、旅行記『 [C] 』を著した。さらに(う) は現在のインドネシアのスマトラ島南部を中心に繁栄していた仏教国 [D] を経由してインドを訪れ、『南海寄帰内法伝』を著した。このように唐代では仏教の教理の研究が進められ、それは(e) 隣接する諸国にも影響を与えた。

問1 空欄 [A] ~ [D] に適する人名・語句を答えよ。

問2 空欄(あ) ~ (う) に入る人名の組合せとして正しいものを、次の中から一つ選び番号で答えよ。

- | | | |
|------|------|------|
| あ：玄奘 | い：法顕 | う：義浄 |
| あ：法顕 | い：義浄 | う：玄奘 |
| あ：義浄 | い：玄奘 | う：法顕 |
| あ：玄奘 | い：義浄 | う：法顕 |
| あ：法顕 | い：玄奘 | う：義浄 |
| あ：義浄 | い：法顕 | う：玄奘 |

問3 下線部(a)に関連して、次のア~エの各文はインドの各王朝について述べたものである。ア~エの各文を時代順に早いものから並べたとき正しいものを、あとの ~ の中から一つ選び番号で答えよ。

- ア. アショーカ王は仏教をあつく信仰し、ダルマ(法)にもとづく政治を理想とした。
イ. ナーランダー僧院が創建され、仏教の教学研究がすすめられた。
ウ. 中国名で戒日王と呼ばれた王が都をカナウジにおき、ヒンドゥー教や仏教を保護した。
エ. ヘレニズム文化の影響を受けてギリシア的な仏像がつくられるようになった。

- | | |
|---------------|---------------|
| ア - エ - イ - ウ | イ - ア - エ - ウ |
| ウ - イ - ア - エ | エ - ア - ウ - イ |
| ア - イ - エ - ウ | ウ - ア - エ - イ |

問4 下線部(b)についての説明文として正しいものを、次から一つ選び番号で答えよ。

個人の救済を目的とする大乘仏教が、おもにタイ・ビルマ(ミャンマー)など東南アジアへ伝わった。

万人の救済を目的とする上座部仏教が、おもにタイ・ビルマ(ミャンマー)など東南アジアへ伝わった。

個人の救済を目的とする上座部仏教が、おもに中国・朝鮮・日本へ伝わった。

万人の救済を目的とする大乘仏教が、おもに中国・朝鮮・日本へ伝わった。

問5 下線部(c)について、漢代の中国を説明した文として正しいものを、次の中から一つ選び番号で答えよ。

鉄製農具が一般に普及し、牛耕農法も発明され、農業生産力が向上した。

「王侯将相いづくんぞ種あらんや」のことばで知られる陳勝・呉広の乱がおこった。

郷拳里選がはじまり、地方で実力を持つ豪族が官僚となって権力をにぎった。

一定の土地を支給された農民が、かわりに税を負担する均田制がはじまった。

問6 下線部(d)について、当時のインドの王朝名を答えよ。

問7 下線部(e)に関連して、下の地図は8世紀前半の中国とその周辺の状況をあらわしたものである。地図中の(A)~(D)の諸国に関する説明文として正しいものを一つ選び番号で答えよ。

(A)はウイグルであり、唐の制度や文物を積極的に取り入れ、仏教もさかんであった。

(B)は新羅であり、仏教文化が発達していて仏国寺が建てられた。

(C)は南詔国であり、独自のチベット仏教(ラマ教)がうまれた。

(D)はカンボジア(真臘)であり、この地のアンコール=ワットは、のち仏教寺院となった。

6 次の生徒と教師の会話を読んで、設問に答えなさい。

生徒：先日、北京でおこなわれたサッカーのアジア大会決勝戦では、中国人サポーターの反日感情が目立っていましたねえ。これは、中華思想の影響なのでしょう。

教師：今回の反日感情は、先の戦争での日本の侵略が大きな原因だと思うけど。中華思想は近代以前の中華帝国の外交姿勢を支える思想だから、ちょっと今回の事件とは結び付けにくいね。

生徒：近代以前の中国の外交政策といえば、冊封体制ですね。

教師：そうね。周辺地域との君臣関係で外交をおこなう冊封体制は、唐代は最盛期となるけれども、(a)宋代には崩れていくのね。しかしその後も、朝貢体制として、清代まで存続することになるのよ。ただし(b)モンゴルは世界帝国として少し体制が変わるけれどもね。

生徒：朝貢というのは、海禁のことですね。

教師：それはちがうわ。朝貢というのは、あくまで周辺国と中国が儀礼にのっとりて貢物と回賜を交換することなのね。海禁というのは、政府が民間の海上交易を禁止したり、海上交易にかかわってさまざまな禁制を出すことなのよ。

生徒：明代は、海禁が解除されてから、(c)大量の銀が中国へ流入したと聞きましたが。

教師：そうね。明の海禁は、洪武帝が出してから(d)永楽帝の鄭和派遣中も存続し、16世紀半ばまでおこなわれる。というのは、16世紀前半の明は、対外関係でたいへん悩まされるのね。

生徒：北方民族と倭寇の攻撃、ようするに[A]ですね。

教師：そう。そして明の海禁と平行して、(e)琉球とマラッカが海上交易では空前の繁栄期を迎えることになるね。

生徒：華僑は、まだ本格的には活躍していないのですね。

教師：中国人商人は(f)清が鄭氏台湾を征服した後に海禁を解除することで、東南アジアへの進出が激しくなるの。18世紀前半の南シナ海は、中国帆船が大活躍していたわけね。

生徒：ヨーロッパ商人との関係はどうなのでしょう。

教師：清とカトリック教会は[B]で対立するでしょう。雍正帝は(g)キリスト教布教を禁止するわけだけど、そのもう一つの結果として(h)乾隆帝は、ヨーロッパ商人との取引を制限してしまうのね。この不満が、アヘン戦争につながることになるのよ。

問1 文中の[A]・[B]に適する語句を答えよ。

問2 文中の下線部(a)に関して述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

建国時の支援の代償として、宋は遼と澶淵の盟を結び、燕雲十六州を割譲した。
西夏との関係は、宋が西夏に臣下の礼をとり、毎年多額の貢物を宋が贈った。
金は、燕雲十六州を割譲するという約束を破った宋を攻め、靖難の変をおこした。
宋は金と手を結んで遼を攻め、遼は西へ逃れて西遼(カラ=キタイ)を建国した。

問3 文中の下線部(b)に関して述べた文として誤っているものを、次のうちから一つえらべ。

モンゴル帝国の全域では金が基本通貨となり、紙幣(交鈔)も発行された。
フビライ=ハンは、高麗・日本・ヴェトナムなどに出兵したが、いずれも通商の拡大と交易路の確保が目的であった。
モンゴル帝国では、色目人のように有能な者は民族を問わず支配層に参加できる機会があった。
モンゴル帝国ではジャムチが整備され、新運河の開削によって、大都是海上交易網とも結ばれた。

問4 文中の下線部(c)の結果、張居正がすすめた税制を何というか、次のうちから一つ選べ。
地丁銀 一条鞭法 両税法 土断法

問5 文中の下線部(d)に関して地図中で、鄭和が派遣されたルートの一つ選べ。

問6 文中の下線部(e)に関して述べた文として誤っているものを、次のうちから一つ選べ。
琉球は、15世紀前半に中山王尚氏により統一され、明に朝貢した。
琉球は、17世紀前半には、薩摩藩と明・清とに服属した。
マラッカ王国はイスラームを保護し、東南アジア島嶼部のイスラーム化がすすんだ。
マラッカ王国は16世紀はじめに、オランダの支配を受けるようになった。

問7 文中の下線部(f)で、清の統治について述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

ホンタイジは朝鮮・チャハル部を服属させた後、軍機処を組織して、藩部を監督させた。
清の軍事組織の基礎は八旗だが、他に漢人だけで組織された緑営もあった。
康熙帝は海上貿易を基盤に抵抗を続ける呉三桂一派に対抗するため、遷界令を發布した。
清は、漢民族に対しては辮髪を強制し、科挙を廃止した。

問8 文中の下線部(g)に関して、ヨーロッパ人宣教師の名前とその業績の結びつきで正しいものを、次から一つ選べ。

アダム=シャルル - 円明園の設計 フェルビースト - 『崇禎曆書』
カスティリオーネ - 『坤輿万国全図』 マテオ=リッチ - 『幾何原本』

問9 文中の下線部(h)に関して、乾隆帝時代におこなわれたことを、次から一つ選べ。

ネルチンスク条約締結 キャプタ条約締結 ジュンガル部併合
内閣大学士の設置

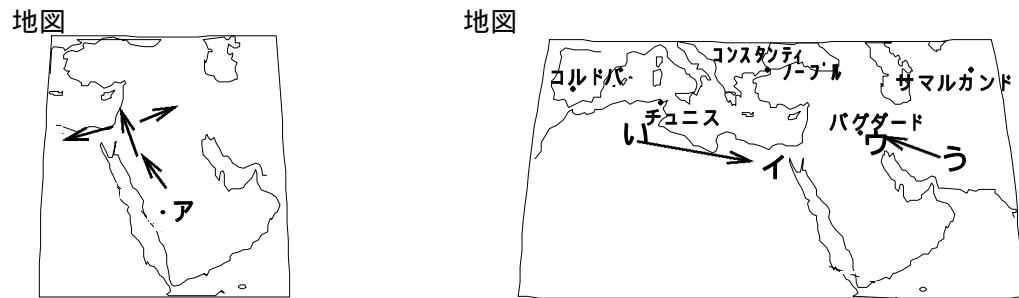
7 イスラーム世界の変遷について、A・Bの文章と各地図を見て、下の設問に答えよ。

A 現在、ムスリム(イスラーム教徒)は世界人口の約20%を占めると言われる。イスラーム教は信徒の精神面だけでなく、生活全般、社会を規定する宗教である。また、キリスト教や仏教などと比較すると、成立時期は遅いが、短期間で広範囲に拡大した。そこにこの宗教の特徴がある。

7世紀、アラビア半島でイスラーム教を創始したムハンマドは、(ア)を攻略した2年後に亡くなった。このとき、かつてムハンマドに忠誠を誓った半島の諸部族が教団から離反しようとしたが、彼の後継者が平定している。そして、これ以後、教団による(a)大規模な征服活動が始まった。地図はその頃の様子を模式的に表したものである。

8世紀に入る頃、イスラーム教団は、西はイベリア半島・北アフリカから東は中央アジアまでも支配下におき、イスラーム教も広まった。だが、(b)この広大な教団国家も宗教上・政治上の対立から分裂し始める。地図はそのような時期にあたる10世紀半ばに起こった、あるできごとを示している。これ以降、多様な民族によるイスラーム諸国家が興亡することになる。

イスラーム教が広範な地域に広まった理由は征服活動以外にもある。(c)優れたシステムに支えられた活発な商業、信徒による布教活動、またイスラームそのものの魅力に与るところもあったのだろう。反対にこれらの活動が増加するに従って、(ア)への巡礼・遊学も活発になっていった。イスラーム世界は経済的・文化的にはますます拡大していったのである。



問1 文中(ア)には地図のアと同じ地名が入る。その地名を次の中から一つ選べ。

- メディナ イエルサレム ダマスカス メッカ

問2 文中の下線部(a)について説明した次の文のうち、誤りを含むものを一つ選べ。

- 征服地の住民には、人頭税を納めることを条件に、信仰の自由を認めた。
- 征服地の住民は、ムスリムになれば、征服者のアラブ人と同じ扱いを受けることができた。
- 征服地には軍団を駐留させ、モスクを建立して都市を建設した。
- 征服地の住民から徴収した税を財源にして、兵士に俸給を支給した。

問3 文中の下線部(b)について。地図中し、\の王朝は、どのように移動し、イ付近を支配下においた。し、\について正しく説明しているものを、次のうちから一つ選べ。

- この王朝は、軍人奴隷が先の王朝を倒して樹立したもので、十字軍や東方から侵攻してきたモンゴル軍を撃退している。
- この王朝はイを支配下においた後、シリアを征服した。続いてイエルサレム王国を滅ぼしたために十字軍の攻撃を受けたが、撃退している。
- この王朝はスンナ派ベルベル人が建てたもので、サハラ西部のガーナ王国を滅ぼし、イベリア半島南部も支配下においた。
- この王朝はシーア派に属し、王はカリフを称した。この王朝が建設した新都カイロは、イスラーム世界の中心都市の一つとなった。

問4 地図中ウの勢力は、どのように移動しウ付近を支配下においた。ウについて正しく説明しているものを、次のうちから一つ選べ。

- ウはイラン系軍人政権で、バグダードに入城したときカリフから大アミールに任じられた。
- ウはトルコ系王朝で、バグダードに入城したときカリフからスルタンの称号を与えられた。
- ウは中央アジアに成立した王朝で、ティグリス・ユーフラテス川流域まで征服した後、サマルカンドに首都を定めた。
- ウはアフガニスタンに成立したトルコ系王朝で、イラン侵入をくり返しイスラーム化した。

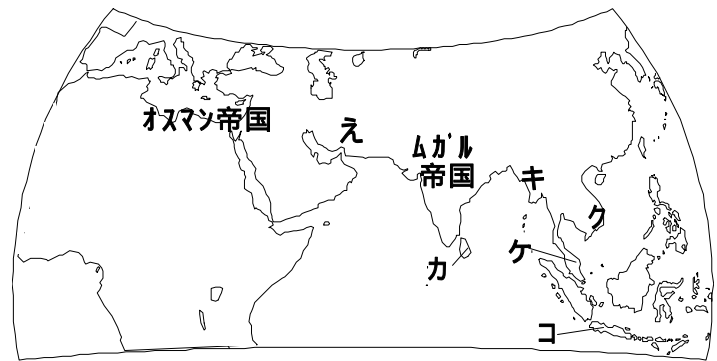
問5 下線部(c)の、イスラーム商人による交易の発展を背景に成立した作品を、次のうちから一つ選べ。

- 『シャーナーメ』 『千夜一夜物語』 『ルバイヤート』 『世界史序説』

問6 次の各事項は、イスラーム世界で画期となった事件である。年代順に正しく並べたものはどれか、下の ~ のうちから一つ選べ。

- ア．バグダードの造営 イ．アッバース朝の滅亡 ウ．カリフの世襲制開始
- | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | イ | ウ | ア | ウ | イ | イ | ア | ウ |
| イ | ウ | ア | ウ | ア | イ | ウ | イ | ア |

B 16世紀、西アジアからインドにかけて3つの強大なイスラーム国家が並立した。地図の(d)オスマン帝国、(え)、(e)ムガル帝国である。これらはいずれも、分裂・抗争を繰り返しながらも自律的な発展を続けてきたイスラーム世界の到達点といえる。また、この頃(f)インド洋周辺でも海上交易が頂点に達している。



問7 下線部(d)について正しく説明した文を、次の中から一つ選べ。

- (d)はトルコ系の軍人奴隷を訓練して、君主の親衛軍を組織した。
- (d)は神聖ローマ帝国の中心都市ウィーンを包囲して、ヨーロッパ諸国を脅かした。
- (d)は軍人にカピトゥレーションという徴税権を与えて、統治させた。
- 16世紀半ば(d)に現れた君主はタンジマートと呼ばれる国政改革をおこなった。

問8 (え)の王朝名と、16世紀末に最盛期を現出させた君主を次の中から選べ。

- 王朝： サファヴィー朝 カージャール朝 ホラズム朝 ティムール朝
君主： ホスロー1世 イスマーイール アッバース1世 シャープール1世

問9 下線部(e)の最盛期は、タージ=マハルを建設した君主シャー=ジャハーンの時であるといわれる。それは次の ~ のうち、どの時期にあたるか。

- バーブル、北インドに進出してデリーを占拠 アクバル、非ムスリムへの人頭税を廃止
- アウラングゼーブ、ヒンドゥー教徒を圧迫

問10 下線部(f)に関連して。この交易で発展し、国際貿易の拠点の一つであったマタラム王国は地図 カ~コのうちどれか。

8 次の文章は、1901年に発行された 幸徳秋水 著『帝国主義』の一部である。これを読み、あとの設問に答えよ。

我國民を膨張せしめよ、我版圖を擴張せよ、^{グレート・エムパイア}大帝國を建設せよ、我國威を發揚せよ、我國旗をして光榮あらしめよ、これいわゆる帝國主義者の喊聲なり。彼らが自家の國家を愛するや深し。

(a)英國は南阿^アを伐^うてり、(b)米國は比^{フィリピン}律^{インベリアリス}賓^トを討^かてり、^{ドイツ}獨逸は(c)膠^{こう}州^{しゅう}を取^とり、(d)露國は滿洲を奪^うえり、(e)仏國は^{シヨダ}ファシヨダを征^{せい}せり、伊太利は(f)アビシニアに戦^{いくさ}えり。これ近時の帝國主義を行うゆえんの較著なる現象なり。帝國主義の向うところ、軍備、もしくは(g)軍備を後援とせる外交のこれに伴^{とも}ざるなし。

然^{しか}りその發展^あの迹^{あと}に見^みよ、帝國主義はいわゆる愛國心を経^かとなし、いわゆる(h)軍國主義^{ミリタリズム}を緯^{いと}となして、もって織^おり成^なせるの政策にあらずや。

問1 下線部(a)に関して述べた以下の文のうち、誤っているものを1つ選べ。
ケープ植民地首相セシル＝ローズは、アフリカを縦断する3C政策を積極的に展開した。
イギリスは、オランダ系ボーア人のオレンジ自由国やトランスヴァール共和国の併合を画策した。
イギリス保守党内閣の植民地相となったジョゼフ＝チェンバレンは、南アフリカ(ボーア)戦争を遂行した。
南アフリカ(ボーア)戦争に勝利し、植民地支配で優位に立ったイギリスはその直後、日英同盟を破棄した。

問2 下線部(b)に関連して、フィリピン独立運動の指導者で、一時、独立政府(マロロス共和国)の大統領となったが、のちにアメリカに敗れた人物を答えよ。

問3 下線部(c)の場所を地図 から選べ。

問4 下線部(d)に関連して、満州支配の主導権を握りたい日本・ロシア両国は、北京で扶清滅洋を唱える排外運動が起こると、積極的に軍隊を送り込んでこれを制圧した。この時排外運動を展開していた、宗教結社を中核とする民衆集団を何と呼ぶか。

問5 下線部(e)に関連して、1898年のファシヨダ事件は、アフリカ植民地支配を目指す英仏両軍が衝突したものである。そののち両国は、お互いの勢力圏を認めあうことで妥協するが、フランスはどこを確保したか。次のうち、最も適切な場所を選べ。

コンゴ マダガスカル モロッコ アルジェリア

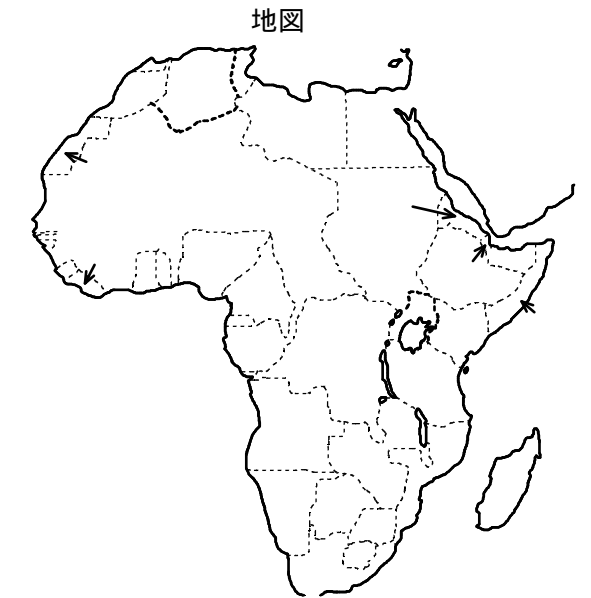
問6 下線部(f)はエチオピアのことである。イタリアはアドワの戦いに敗れて同国の征服に失敗したが、アフリカ大陸の他地域の植民地化を実現した。地図 の ~ のうちイタリアの植民地として不適切な場所を選べ。

問7 当時のアフリカ大陸で、エチオピアのように独立を維持できた国は数少ない。地図 の ~ のうち、20世紀初頭に完全独立を維持していた国を選べ。

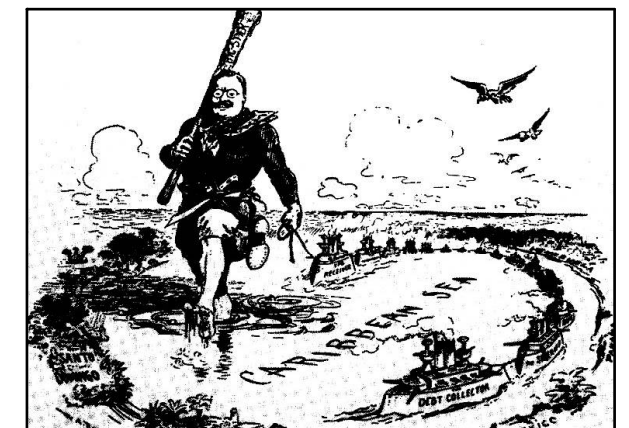
問8 下線部(g)に関連して、図 が示すように、強力な軍備を背景とした棍棒外交を行い、積極的なカリブ海政策を展開した、アメリカ大統領を答えよ。

問9 下線部(h)に関連して、幸徳秋水は同じ著作の中でフランスのドレフュス事件を、軍政が社会を腐敗させた例証である、と述べている。このドレフュス事件に際して被告を擁護し、『居酒屋』などの著作で知られる、フランス自然主義作家は誰か。

問10 幸徳秋水の『帝国主義』出版の十数年後、第一次世界大戦からロシア革命の中にあつて『帝国主義論』を著し、帝國主義を資本主義經濟の最高段階と主張した人物を答えよ。



図



9 2004年は五・四運動から85年目にあたる。北京市の北京新文化運動記念館では「新文化運動の旗手 - 陳独秀」と題した展示が行われていると、4月19日付で中国の新聞社が伝えた。(http://searchina.ne.jp/4月20日より引用)五・四運動が起きた1919年前後は世界的にも大きな動きがあった頃である。それらに関連した下の設問に答えよ。

問1 1915年に陳独秀が刊行し新文化運動を支えた雑誌名を答えよ。

問2 新文化運動について述べた文として、誤ったものを次のうちから一つ選べ。

胡適は、口語で文学を表現する白話運動を提唱した。

李大釗は儒教道徳を批判し、その思想は中国国民党に受け継がれた。

魯迅は『阿Q正伝』等の著作で社会悪の根元を追求した。

北京大学は、当時の進歩派を教授陣として迎え、新文化運動の中心となった。

問3 五・四運動と同年に、朝鮮の民衆が日本からの独立を求めておこした運動の名を答えよ。

問4 五・四運動後の中国情勢について述べた文として、正しいものを次のうちから一つ選べ。

袁世凱政権は五四運動の盛り上がりにもかかわらず、ヴェルサイユ条約に調印した。

陳独秀らは中国共産党を結成したが、コミンテルンはそれを援助しなかった。

中国国民党の指導者孫文は、アメリカの仲介により中国共産党と連携した。

中国におけるドイツ権益は日本が受け継いだ、ワシントン会議において中国に返還された。

問5 1926年に中国国民党は北伐を開始するが、その前年に北京の軍閥政府に対して国民政府を樹立した。国民政府が樹立された都市を次のうちから一つ選べ。

杭州 重慶 広州 南京

問6 北伐開始後の中国情勢について、誤っているもの次のうちから一つ選べ。

蔣介石は1927年に中国共産党を弾圧し、改めて上海に国民政府を建て、主席となった。

日本は国民政府による中国統一を妨害するため山東出兵を繰り返した。

当時、上海を中心に中国経済界を支配していたのは浙江財閥である。

国共合作の崩壊後、中国共産党は中華ソヴィエト共和国臨時政府を建てた。

問7 第一次世界大戦後のアジア情勢に関して、正しいものを次のうちから一つ選べ。

インドではガンディーがプールナ=スワラジを提起した。

ビルマでは、1930年代に急進勢力のタキン党が台頭した。

インドネシアではスカルノがコミンテルンの援助により、共産党を結成した。

インドシナではホー=チ=ミンがベトナム国民党を結成した。

問8 第一次世界大戦後のトルコに関して、正しいものを次のうちから一つ選べ。

敗戦国となったオスマン帝国はトリアノン条約で領土を大幅に失った。

オスマン帝国の敗戦に乗じて、ブルガリアはイズミルを占領した。

ムスタファ=ケマルはトルコ新政権を樹立し、連合国と改めてローザンヌ条約を結び、対等の外交関係を樹立した。

1922年に樹立されたトルコ共和国はカリフ制を廃止し政教分離を行ったが、女性参政権は第二次世界大戦後まで持ち越された。

問9 第一次世界大戦後のイスラーム諸国・アフリカに関して、正しいものを次のうちから一つ選べ。

イギリスが保護権を放棄したことによりエジプト王国が成立したが、イギリスはスエズ運河を引き続き支配した。

ロシアの保護国であったアフガニスタンは、ロシア革命を機に独立した。

アフリカではスペインがコンゴ一帯を支配した。

イランではイブン=サウードが実権を握り、パフレヴィー朝を開いた。

問10 当時、パレスティナ地方に関してイギリスは二枚舌外交をおこない、それが、現在のパレスチナ問題の直接的な原因となった。そのことと関係のない事項を下の中から選べ。

フサイン=マクマホン協定

バルフォア宣言

サイクス=ピコ協定

ヤルタ協定

10 EU(ヨーロッパ連合)についての次の文章を読み、下の設問に答えよ。

EU(ヨーロッパ連合)成立の背景に、一人の日本人女性がいた。東京の裕福な古美術商の三女として生まれた青山光子(1874-1941)である。光子が17歳の1892年の春、(a)オーストリアの外交官ハインリヒ=クーデンホーフ=カレルギー伯が、青山家の自宅店先で落馬事故を起こした。やがて光子の親切的な怪我の手当てが縁となって二人は結婚し、光子は22歳で(b)ベーメン(ボヘミア)のロンスベルク城へと渡って行った。

やがて光子は四男三女に恵まれたが、その三男リヒャルト(1894-1972)こそが、ヨーロッパ統合運動の火付け役となったのである。リヒャルトは第一次世界大戦後に(c)『パン=ヨーロッパ』を発表したが、これは戦間期の欧州復興と(d)国際協調が進む時代にあって一躍注目を浴びた。リヒャルトの構想の原点には、フランク王国のイメージがあったと言われる。確かに、EUの統一通貨「ユーロ」の前身にあたる「エキュ」(ECU=European Currency Unit)には、カール大帝の肖像が用いられていた。

その後、リヒャルトの理念を受けた具体的なヨーロッパ統合の動きは、1948年に発効したベルギー・オランダ・ルクセンブルクの間(ア)同盟となって結実した。更に1952年にはフランス外相(イ)が提唱した(e)ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECS)が成立したが、これは(ウ)川を挟んだ独仏間の地下資源に関する「恒久和解」をも意味している。

また1958年にはECS参加6カ国による(f)ヨーロッパ経済共同体(EEC)が発足し、経済統合を軸にヨーロッパ共同体(EC)へと発展した。このECはさらに加盟国を増やし、1973年には拡大ECと呼ばれる経済統合体へ成長し、1992年に調印された(エ)条約によってEUへと至ったのである。今後のEUの課題は、共通外交などの政治統合であるが、諸国間の方針調整など、多くの解決すべき課題が残されている。

問1 文中の下線部(a)に関連して、1890年代のオーストリアの情勢として誤りを含むものを、つぎのうちから一つ選べ。

- バルカン半島のボスニア=ヘルツェゴヴィナの統治権を持っていた。
- チロル、トリエステ(イストリア)およびヴェネツィアを領有していた。
- オーストリア=ハンガリー二重帝国と呼ばれる体制をとっていた。
- 当時すでにドイツとイタリアとの間で三国同盟を締結していた。

問2 文中の下線部(b)の地域についての説明で誤りを含むものを、次のうちから一つ選べ。

- 新教徒の反乱を契機に三十年戦争が始まった。
- フランス二月革命の影響で直後にロシアから独立した。
- 第二次世界大戦中はドイツの占領下にあった。
- 民主化を求めた「ブラハの春」はソ連に弾圧された。

問3 文中の下線部(c)が発表された1923年に起こった事件について、正しく述べているものを次のうちから一つ選べ。

- ドイツでミュンヘン一揆が起こりナチスが政権を獲得した。
- イタリアではムッソリーニのローマ進軍が失敗に終わった。
- フランスとベルギーがルール出兵(ルール占領)を行った。
- スペインではフランコを首班とする人民戦線内閣が成立した。

問4 文中の下線部(d)に関連して、国際協調の成果として1928年に結ばれた不戦条約を提唱した政治家を、次のうちから二人選べ。

- ジョン=ヘイ エーベルト ケロッグ シュトレーゼマン
- ブリアン マクドナルド クレマンソー

問5 文中の下線部(e)に関連して、このヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECS)に加盟しなかった国を、次のなかから一つ選べ。

- イギリス オランダ イタリア ドイツ(西ドイツ)

問6 文中の下線部(f)に対抗して作られた経済統合組織を次のなかから一つ選べ。

- SEATO NATO OPEC EFTA

問7 文中の空欄(ア)に適する語句を次のうちから一つ選べ。

- ユトレヒト ロンバルディア カルマル ベネルクス

問8 文中の空欄(イ)に適する語句を次のうちから一つ選べ。

- トルーマン マーシャル シューマン チャーチル

問9 文中の空欄(ウ)に適する語句を次のうちから一つ選べ。

- ライン エルベ ドナウ ロワール

問10 文中の空欄(エ)に適する語句を次のうちから一つ選べ。

- ロンドン マーストリヒト ワルシャワ ブリュッセル